

議長（高木将君） 次，16番山口恒男君の発言を許します。

〔16番 山口恒男君登壇〕

16番（山口恒男君） 16番山口恒男でございます。

まず最初に，行政について。

1つ，新総合計画タウンヒアリングについて，今回，同僚議員からも質問があり，重複いたしておりますので，若干割愛し，市新総合計画タウンヒアリングの開催そのものに対して4点ほど質問させていただきます。

開催当日，私も途中からではありますが，参加させていただきました。会場に入るや否や，愕然といたしました。私も含め参加者15名，そのうち6名は議員。このわびしいといえますか，悲惨な情景は，何とも言いがたい。これが行政の催事かと思わずにはいられませんでした。案の定，他の参加者も痛烈に感じていた様相で，ご指摘の声が上がっております。執行部においても予想外の結集でなかったか，何となく覇気が感じられず，担当部署の取り組み姿勢に大きな問題があったのではと思っております。

お伺いいたします。

1つ，過日の答弁で，本来の成果は得られなかったとご発言があったように思いますが，開催の本来の趣旨はどのようなものなのか。

2つ，このヒアリングの開催には，どの程度の参加者数を計画，あるいは予測していたのか。

3，周知にも問題があった，今後検討していくと，前向きな発言がありましたが，今回，「お知らせ版」，ホームページを含め，どのような媒体でどの程度の周知を行ったのか。

4，今後10年という重要な計画に対しての初めての開催と思われるが，過日も反省の弁は述べられておりますが，再度，今回の評価及び反省点をお聞かせいただければと思いますが，ご答弁，よろしくお願いいたします。

2，宅配・買い物代行サービスについて。

市長の掲げる協働によるまちづくりの1つと思われるこのサービス，取り扱い業者も増加の一途であり，今後も大いに期待の持てるものと確信いたしております。なお，この事業に対し，他自治体からも脚光があり，私のもとへも問い合わせが何件かございます。

事業の進捗状況，利用者の声や要望についてお聞かせください。また，運営上のメリット・デメリットがあれば，あわせてお聞かせください。

次に，環境について。

1つ，住環境整備について。今，市民は合併後にさまざまな角度から，行政に対する要望や批判の声が，前段のヒアリングの発言同様多くなってきております。その中でも，通学路や生活道の安全整備に対してや河川の整備等の声も多く，早急な整備を行うべきであります。

例えば，南中学校や増井橋付近，塙坂や佐竹ニュータウン入り口，大山病院前などでは，事故まがいのことが日常茶飯事，大事には至らなかったが，接触事故もあったとお聞きし

ております。また、多くの児童や市民が危険に遭遇しており、不安も抱いております。これらの箇所には、道路の拡幅、横断歩道やカーブミラー、あるいは信号機や防犯灯の設置などもさまざまな要望が出ておりますが、市内全域にも同様な要望が渦巻いております。なお、河川などでは、毎年源氏川の堤防などの伸び過ぎた雑草の処理や、新たな桜の植樹で公園的な緑地整備の要望も出ております。

これらの箇所を執行部も十分承知され、何らかの方策を行っていると同っておりますが、見えぬ整備の状況下では、市民から何もやってくれないとの不満の声が出て当然でありますし、何らかの方法で、常にわかりやすく周知の必要性があるのではないのでしょうか。

そこで、伺いたいします。このような道路の安全に関する要望は、父兄の方々の声が特に多く、学校やPTAにも要望はしているが、その結果が何ら伝わってこない、要望が取り上げられているのかわからない、本当はどこに要望すれば取り上げていただけるのかとの声が上がっております。経過措置を含め、進捗状況が常に市民にわかりやすく伝わるよう徹底すべき施策も必要かと思いますが、いかがでしょうか。

2、犬のふん放置対策について。今、道路、公園、緑地、遊歩道には、犬のふんの放置が以前に比べ年々増加しているようで、けさ、市役所の植え込み近くにも散乱しております。市民からの苦情もよく聞いております。街きれ等の啓発看板や不法投棄条例だけでは、不十分と思います。善良な飼い主も多く、飼い主のモラルの問題ではありますが、徹底した策を講じるべきであります。市全体がエコミュージアムである点を考えれば、なおさら観光面、住環境の双方からも、独自の犬のふん放置禁止の条例を制定すべきではないのでしょうか。

最後に、防犯について。

1つ、いじめ自殺対策について。この件に関しましては、過日の同僚議員のご答弁で承知いたしました。この問題に対して東洋大学白石真澄教授は、画一的な教育、学校指導要領よりも、もっと生きた情報や知恵、現場での体験が求められている。かつて土曜に授業があった時代、例えばインドに滞在経験がある人にはカレーを教えてもらい、IT企業に勤める人にはコンピュータの授業を担当してもらうという特別授業をやっていた。そうすると、学校では学べないことに子供たちが興味を持てるとし、学校が地域の人材を積極的に活用し、人生経験や知識を地域に還元する取り組みは大歓迎で、積極的に活用すべきと。また、静岡大学馬居政幸教授は、少子化の影響で子供が兄弟や同世代で触れ合う機会が減った。学校入学時の子供の不十分なコミュニケーション能力を前提とした対策が必要とっております。こういったことを考えれば、少子化対策を優先させることも必要と思っておりますが、この点について、唐突ではありますが、教育長のご所見があればお聞かせください。いかがでしょうか。

2、防犯パトロールについて。栃木で下校途中連れ去られ、遺体で発見された事件から1年経過いたしました。いまだ犯人は見つからず、手がかりのないままとお聞きしております。熱しやすく冷めやすい、のど元過ぎればも人の心と思っておりますが、再度の防犯に対

する心がけが必要かと思えます。

お伺いいたします。防犯パトロールの発足当時と比較して、さまざまな現況をお聞かせください。さらに、空き家などのパトロールも含め、再度強化すべきと思いますが、いかがでしょうか。

以上3項について、それぞれのご答弁をよろしくお願いたします。1回目の質問を終わります。

議長（高木将君） 答弁を求めます。市長公室長。

〔市長公室長 川又善行君登壇〕

市長公室長（川又善行君） 新総合計画タウンヒアリングについてのご質問にお答え申し上げます。

タウンヒアリングは、総合計画の策定に当たりまして、市民参画の一環として、中学生、高校生を含む市民アンケート調査、総合計画審議会、総合計画まちづくり懇談会、地域審議会とあわせて実施したものでございます。70名から100名程度の市民の参画を想定しておりましたけれども、市民への周知につきましては、10月24日発行のお知らせ版及び市ホームページにより行ったところでございます。

議員ご指摘のように、参加者が少なかったこと、総合計画基本構想に係る論議とはならなかったことなど、開催につきましては反省すべき点が多くございまして、特に開催期日や内容等についての周知の徹底に多くの課題があったことにつきましては、真摯に受けとめており、反省しております。

こうした反省を踏まえ、今後、総合計画を実施していくに当たりまして、市民との協働を基本としていますことから、議決を得ました後に、総合計画ダイジェスト版の全戸配布、職員の出前講座のほか、市政懇談会、地域審議会、町会長会議などを初め、市が主催する各種会議等においてその内容等について説明をし、市民の皆様にご理解をいただけるよう努力してまいりたいと考えております。

以上です。

議長（高木将君） 保健福祉部長。

〔保健福祉部長 増子修君登壇〕

保健福祉部長（増子修君） 行政についての、宅配・買い物代行サービスについてお答えをいたします。

まず初めに、進捗状況についてであります。10月末現在の事業利用決定者数は61名でございます。登録サービス事業者につきましては、36事業者が決まっているところでございます。また、利用者の延べ人数でございますが、75人ございまして、利用回数につきましては234回というふうになっております。1人当たり平均月3回の利用となっております。8月に事業を開始しまして、4カ月であります。利用者、利用回数とも増加をしている状況でございます。今後、さらに事業の周知を図りながら、サービス事業者などと連携を図りながら、その対象者の把握、または利用者の拡大に努めてまいりた

いと考えているところでございます。

次に、利用者の声、要望についてであります。現在のところ、要望や意見等は特にいただいております。

運営に当たってのメリット、デメリットについてでございますが、メリットといたしましては、地域の商店がひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯を対象に買い物代行や商品の宅配サービスを実施することによりまして、利便性が図られ、さらに安否確認ということを行っております。これによりまして地域の見守り体制が図られるなど、高齢福祉サービスの向上につながっているのかなというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

議長（高木将君） 建設部長。

〔建設部長 川又和彦君登壇〕

建設部長（川又和彦君） 住環境整備についてお答え申し上げます。

通学路や生活道路など、市民の皆様身近な市道の維持管理に当たりましては、生活の利便性や交通安全の確保のため、市において定期的な現地のパトロールを実施するとともに、地元におきましては、町会のご協力をいただきながら、危険箇所の把握や維持管理に努めているところでございます。また、毎年、道路管理者でございます県や市、さらに市民の皆様や警察、学校関係者などによりまして現地調査を実施し、広く交通安全の確保に努めているところでございます。

議員ご指摘の道路の狭隘箇所や危険な交差点など、要望の内容によりましては、改善に時間を要する、あるいは速やかに実施できない案件もあり、地域の皆様にご迷惑をかけているところでございますが、一方で、市民の皆様からのご要望は危険箇所の実態を把握する上で大変貴重な情報でもありますことから、今後は、要望をいただきました案件につきまして、これまで以上の説明責任を果たす観点から、整備の方針やスケジュールなど情報提供に努めることとし、ご理解をいただきながら、良好な住環境の整備を図ってまいります。

以上でございます。

議長（高木将君） 市民生活部長。

〔市民生活部長 綿引優君登壇〕

市民生活部長（綿引優君） 市民生活部関係のご質問にお答えいたします。

最初に、環境についての中で、犬のふんの放置対策についてであります。当市では、常陸太田市ごみ等の散乱防止に関する条例の中で、飼い犬の散歩中のふんによる汚染を防止する規定を設け、快適な生活環境の確保のため、総括的なごみ等の散乱防止を推進しているところです。また、飼い犬の散歩時におけるふん放置対策については、「広報ひたちおた」、「お知らせ版」への掲載活動や、ふん害防止看板の配布のほか、苦情対策として、職員による飼い主への指導などを行っているところです。

ご質問の飼い犬ふんの放置の禁止を条例化する考えについてですが、県内においては、

水戸市，日立市，古河市の3市が条例を制定しておりますので，この条例化につきまして，条例制定や犬のふん放置対策に効果を上げている市町村の状況調査を行って，検討してまいりたいと考えております。

なお，この問題は，何よりも飼い主のモラル向上が重要でありますので，地道な広報活動のほか，狂犬病予防注射時などの機会を利用し，指導強化を図ってまいりたいと考えております。

次に，防犯パトロールについて2点のご質問がありましたので，お答えいたします。

1点目の，防犯パトロールの現況であります，現在，地域の自警団組織は27団体（平成17年度当初は5団体）が組織され，小学校の下校時における防犯パトロールや立哨指導，巡回パトロールなど，地域に合った防犯活動を行っております。また，地域子供ボランティアにおいては，現在821人（当初509人）と多くの方の参加による見守り活動や，郵便局，宅配等の配達時におけるパトロール活動により，児童生徒の安全確保に努めてきているところであります。

2点目の，防犯に対する再強化につきましては，悲惨な事件から日がたちますと防犯意識が薄れることから，今後の対策としましては，関係機関等（警察や自警団組織，学校等）との連携を強化するとともに，市民の防犯意識の高揚を目的に，防犯教室，防犯セミナーの開催や，防犯意識の啓発，PRの充実を図り，また地域コミュニティなどを中心とした自主防犯組織の育成，支援を行い，地域ぐるみによる安全対策を強化し，市民が安全で安心して暮らすことができる地域の環境づくりを継続的に進めていく考えであります。

以上でございます。

議長（高木将君） 教育長。

〔教育長 小林啓徳君登壇〕

教育長（小林啓徳君） いじめ自殺対策についてのご質問にお答えをいたします。

背景にあるものにつきましては，いろんなものが指摘されておるところでございますが，議員ご発言のように，少子化，あるいは核家族化，さらには子供たちを巻き込んだ犯罪の急増等，いろんな社会の変化によりまして，子供たちが同世代と触れ合う機会が大変減ってしまったこと，また，高齢者等のいろいろなほかの年代の人たちと触れ合う機会も減ってしまったということ，これも背景の中の1つではないかと思っております。

さらには，地域との結びつきもやはり必要になってきておりますので，本市におきましては，昨日申し上げましたように，地域との結びつきをさらに強めていく必要があるということで，今までも努力をしてきておりました。学校におきましては，今まで以上に行事あるいは授業等に，地域の方々の参加を含めて，協力をいただいくことも必要ではないかと思っております。

また，地域のいろんな人たちとかかわる体験をするという面から，平成14年度から学校週5日制の実施に伴いまして，本市においては，心豊かでたくましい子供をはぐくむために，学校，PTA，公民館及び地域の方々のご協力をいただきながら，伝統文化体験学

習，あるいは親子チャレンジ体験学習，親子陶芸教室，動植物の観察学習など，さまざまな体験活動，地域住民との交流活動を，土曜日あるいは日曜日に実施しておる状況でございます。いろいろな施策も含めながら，子供たちの体験活動をさらに幅広く進めていきたいと思っております。

議長（高木将君） 16番山口恒男君。

〔16番 山口恒男君登壇〕

16番（山口恒男君） ご答弁，大変ありがとうございました。

新総合計画タウンヒアリングについては，本当に反省していただいてありがとうございます。ただ，反省しているだけでは先に進みませんので，ぜひとも今までの反省の点から検討されたことを実施していただいて，できればタウンヒアリングではなく，新総合計画に対して，一般の方を対象に説明会をまた開いていただければよろしいかと思えます。

また，宅配・買い物代行サービス，高齢者の安否確認等に大いに役立っているということで，ますますこの制度が施行されていきますよう，心から思っております。ぜひとも事業者の方，これは事業者の方ですから，いろいろ経営上の問題もあるかと思えますけれども，こういったことでボランティアの活動の一環としてやっていただければ，大変ありがたいと思っております。

住環境整備について，これもなかなか難しい問題であります。道路整備，そういった要望等も含めましては大変ですけれども，ぜひとも地域でわかるような何らかの……，地域の回覧板を回すとか，そういったことでも周知していただければありがたいと思えます。危険を感じている方々は，やはりその危険性から，もうどしていいか，どこに頼んでいいかというようなことで，さまざまところに声をかけております。学校の先生，PTA，PTA会長さん，そういったところにも声をかけながらやっているんですが，なかなかそれが進んでこないということで，だれもやってくれないんじゃないかというような，そんな声も聞いております。そういった意味も考えれば，ぜひとも早急に何らかの周知の体制を図っていただければありがたいと思えますし，また，学校においての出前講座等も企画していただければありがたいと思えます。

私も先日，交通事故の被害者となりまして，嫌な思いをしております，加害者の方も大変嫌な思いをして，やっぱり事故が起きると，加害者も被害者も本当に苦しい思いをするんだなということを考えますと，こういった対策は早急にさせていただきたいと思っております。

また，犬の放置対策に関しましては，常陸太田市は緑にすぐれたエコミュージアムというようなまちであります。そういった意味から，観光客の方々が来たときにも，本当にきれいでいいなと。ごみの集積所があまりにもきれいになっているので，その点でも評価を受けておるまちでありますので，そういったことも考えて，犬のふん放置禁止にもっと積極的に，できれば条例を制定していただければ，それに従って人間ももっと考えるのではないかということで，制定の方向にも検討していただきたいと思います。

防犯について、いじめ自殺対策、教育長、唐突にご質問いたしまして本当に申しわけございませんが、教育長が常日ごろ考えているコミュニケーションの点は、やはり一番大切かと思っております。

また、防犯パトロールにつきましては、過日来、防犯無線利用の下校時の呼びかけなどがなくなってしまっているようではありますが、こういったこともまた復活させて、また青色灯パトロール、青というのは心をいやすという意味があるそうで、そういった意味からすると、犯罪者もその色を感知すると心が落ち着くということで、防犯の1つになると思いますので、こういった防犯パトロール等のご検討も今後よろしく願いいたします。

以上をもちまして、私の一般質問をこれで終了させていただきます。ありがとうございました。